

群青

仙台市立第一中学校

第3学年だより

第15号 2024.11.22

今、改めて「光れ」を胸に 一人ひとりが世の中を明るく照らす「光」に

先日の進路事務説明会、また給食試食会への御参会、大変ありがとうございました。説明会の冒頭で、「青」学年の卒業生の話に触れさせてもらいました。ようやく原稿が仕上がりましたので配布させていただきます。私が一中に赴任してから早いもので8年が経過しました。長きにわたり「青」学年の主任を務めさせていただきましたが、一貫して抱えてきたのは、「この子どもたちが、将来それぞれの場所で世の中を明るく照らす光になってほしい」という願いです。6年前の卒業生が大学の最上級生の代に、そして3年前の卒業生は、大学受験の年代になりました。おそらく今頃、卒業生は皆、自分の将来を真剣に見据え、具体的にどんな道で世に貢献するのか真剣に模索している最中なのではないかと思っています。

「高校受験はゴールではなくスタート」。この子どもたちも、中学卒業と同時にそれぞれの道を歩むことになります。くどいようですが、進路は子ども自身が決めるもの。今回の受験先が、お子さんの考えを中心にしながら御家庭で十分に練られ、将来につながるものになればいいと思っています。

来週から三者面談が始まります。御足労をおかけしますが、どうぞよろしくお願いいたします。

この夏から秋にかけ、聖和学園三浦広大さんの甲子園出場や本校合唱団の全国制覇など、子どもたちの持つ大きな力が私たちの心を明るく照らしてくれました。その後も、目映い「光」を放つ卒業生の状況が届いておりますので、紹介させていただきます。

藤原 巧翔さん（東海大学3年 『Global Innovation Project』代表）

自分がリーダーとして活動している団体が、ある企業からインタビューを受けたと藤原さんから知らせがありました。その内容は概ね次の通りです。

（藤原）私たちは、学生が「やりたい」「興味がある」と感じることに仲間とともに挑戦し、SDGsの達成を目指すという団体です。メインの活動は、SDGsの理解を深めるゲームや、地域イベントへの参加などです。また、イベントへの参加を通じ、新たなアイデアや人とのつながりが広がっています。

最近行った活動は次の三つです。

①地域イベントでのクイズラリーゲーム ②SDGsアートプロジェクト ③大学構内へのウォータースタンド設置

メンバーのアイデアの質や、コミュニケーション力、イベントへの参加率が上がり、充実感、達成感を感じています。イベントで、子どもたちや地域の方々との交流では、メンバーのよい表情を見ることができると大きなやりがいの一つです。

一中に赴任し、最初に担当したのが藤原さんの代でした。今年の1月に「二十歳を祝う会」で再会したばかりですが、6年の時間と経験は子どもたちを大きく育ててくれたんだと実感しました。藤原さんは、中学卒業後も吹奏楽関連で一中に来校することも多く、藤原さんと関わった在校生も多いと思います。明るい性格を軸に、「周りの誰かのために」と力を注ぐ姿勢は中学在学中と何ら変わっていません。これから就職活動が始まるとのことですが、藤原さんのこれからの活躍がとても楽しみです。

藤原さんから3年生へ

皆さんこんにちは。2018年度卒業の藤原巧翔と申します。

今僕は、地域イベントのボランティアなどをする団体で代表を務めていたり、就職活動やアルバイトなどに励んでおり、毎日充実した日々を過ごさせていただいています。

思い返せば、一中で過ごした3年間が今の僕を形作ったと言っても過言ではないくらいです。一中には素晴らしい先生方やハイレベルな仲間たちがおり、今僕が頑張ることができているのは、間違いなく「頑張る環境」が当たり前のように周りにあった一中の環境だと思います。皆が当たり前で頑張っているから、自分も頑張ろうって思えた3年間でした。在学中はそんなことに思いは及びませんでした。卒業後にじわじわとそのことを実感しています。特に印象深かったのは、吹奏楽部2年連続の全国大会出場。そして、最後の卒業合唱をほとんど自分たちの力で創り上げたことです。「群青」を強く希望したのは私でした。そして無謀を承知で四部合唱に挑みました。もう一つは「こころようたえ」というアカベラの曲でした。歌詞も難解で音を合わせることに苦勞しましたが、1月からは毎日ほとんどの生徒が参加し、昼練習を行いました。その結果、式の日には、私たちの感謝の気持ちを保護者、地域の皆様、先生方にお届けすることができました。「一中生は本当にすごい」と改めて感じる事ができた中3の冬でした。

「青」学年の皆さん、一中での生活も残りわずかになりました。その時間が思い出深いものになるよう祈っております。進路目標の実現も心から応援しています。



阿部 友愛さん（聖和学園高校3年）

- ◇FIBA U-17女子バスケットボールW杯2024 日本代表
- ◇FIBA 3×3 U18 ワールドカップ2024日本代表 銀メダル
- ◇令和6年度全国高等学校バスケットボール選手権大会（ウィンターカップ）
宮城県大会優勝（県代表）

阿部 心愛さん（愛知 桜花学園高校3年）

- ◇FIBA U-17女子バスケットボールW杯2024 日本代表
- ◇令和6年度全国高等学校バスケットボール選手権大会（ウィンターカップ）
愛知県大会優勝（県代表）

今から3年前、バスケットでより高い場所を目指し進路を選択した姉妹でした。特に心愛さんは、仙台の家をを離れ、一人で愛知県に行くことを決意しました。そこは、日本代表選手を多く輩出し、全国に知れ渡ったバスケットボールの名門校。自分の力がどこまで通用するのか、その不安や葛藤は、私には知る由もありません。それは友愛さんにとっても同じことだったと思います。

成功するかどうかという迷いよりも「より高い場所に到達したい」という思いが勝った結果の進路選択だったと思います。結果、姉妹二人揃って見事な成長を遂げました。これまでの道は決して平坦ではなかったことは想像できます。

「全国大会での姉妹対決」を願い異なる地で技を磨いてきた二人。夏のインターハイでは、あと一步のところでその夢は叶いませんでした。冬のウィンターカップが最後のチャンスです。そんな夢のような対戦が実現することを願って止みません。と綴っていた矢先、驚くニュースが飛び込んできました。両校が初戦で対戦するという知らせでした。二人が思い描いていた夢がついに実現することになりましたが、二人の心中はとても複雑だろうと思いました。すると、翌朝友愛さんから下記のメッセージが届き…本当に真っ直ぐで強い気持ちを持っている子ですね。

会場に足を運びたいところですが叶いません。仙台の地から、二人にとって良いゲームになることを願います。

「先生、12月のウィンターカップ、1回戦目で桜花と当たることになりました。

1ヶ月間、勝つ準備をして戦いたいと思います。最初で最後の心愛との試合を楽しみます！」

阿部友愛さんから3年生へ

みなさんこんにちは。

私には将来就きたい職業があり、中3の今頃は、一般受験をするかバスケットの推薦進学するか迷っていましたが、最後はより高いレベルでバスケットをしたいと思い今の道を選びました。いろいろな人に相談もしましたが、誰かに言われて決めるより、最後は、自分の将来は自分の意志で決めることが大切だと思ったし、今はそうして良かったと思っています。皆さんも、周りの誰かと比べて焦ったりせず、自分のペースで頑張ってください。受験を控え、落ち着いた時間を過ごしていると思いますが、残り少ない卒業までの期間を一緒に過ごしている仲間たちと楽しんでください。

WINTER CUP 2024 12/23 mon 東京体育館 12:20Tip Off
女子1回戦 聖和学園高校(宮城) VS 桜花学園高校(愛知)

岡元 龍太さん（東北学院高校3年）

全国高校サッカー選手権宮城県大会優勝（県代表）

先日、宮城県代表を決める決勝戦が行われ、東北学院高校が2-1で仙台育英学園高校に見事勝利し、全国大会への切符を手に入れました。その中で、背番号9を着け、FWのポジションで先制点を決め、勝利に貢献したのが本校卒業生の岡元龍太さん（3年）でした。長くクラブチームに所属し、進学した岡元さんでしたが、多くの優秀な部員を抱える名門校で、定位置に収まることは並大抵のことではなかったと思います。そして、この活躍。関わった者の一人として、こんなに誇らしいことはありません。先日、下記の原稿を届けがてら一中に足を運んでもらいましたが、卒業後は首都圏の大学に進学し、さらにサッカーを続けるとのことでした。全国大会並びに、卒業後の活躍を応援したいと思います。

岡元さんから3年生へ

こんにちは。私は2021年度に仙台一中を卒業した岡元龍太です。今は、東北学院高校に通っており、先日ユアスタで行われた全国高校サッカー選手権宮城県大会の決勝でゴールを決めることができ、全国大会出場権を得ることができました。今では、こんなに楽しくサッカーをしたり、充実した生活を送っている私ですが、中3の時は今の皆さんと同じように進路について迷っていました。高校生活を楽しんでいる姿が想像できなかったり、どんな進路を選ぶのが正解なのかわからなかったりなど不安要素がたくさんありました。ただ、私が言えるのは、一中生のみんななら、選んだ道を“正解”にする力があるということです。一中には元気すぎる生徒が多いです。みんなの代もきつとそうですよ（笑）。そんなみんななら、どんな選択をしても、その道で楽しめるはずですよ。そして、いつの間にか、その道は納得できる“正解”になっているはずですよ。



第103回 全国高校サッカー選手権大会 12/29 sun ニッパツ三ツ沢球技場 14:00 Kick Off
1回戦 東北学院高校(宮城) VS 奈良育英学園高校(奈良)

